



PATEK PHILIPPE
GENEVE

《報道資料》 ページ 1

バーゼルワールド2019

パテック フィリップ ジュネーブ

カラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001 モデル ステンレススチール仕様の新しいコンプリケーテッド・ウォッチ

パテック フィリップは、カレンダー時計の分野で新しいコンプリケーション機能を発表する。ウィークリー・カレンダーは、曜日と日付に加え、今日が1年の何週目かを示す週番号を表示する。カラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001モデルは、多数のパフォーマンス向上を計ったまったく新しい自動巻基本キャリバーを搭載している。

パテック フィリップは、シンプルな日付窓表示から、28世紀までプログラムされた複雑な世紀永久カレンダーまで、多岐にわたるカレンダー機構を開発してきた。中でも永久カレンダーは、長いことマニファクチュール パテック フィリップの専門分野のひとつとして確固たる地位を与えられてきた。1996年に発表された年次カレンダーは、1年に1回、3月1日にのみ日付調整が必要なフル・カレンダーとして、小さな革命を引き起こした。2013年、ゴンドーロ8日巻5200モデルは、革新的な瞬時日送り式の曜日、日付表示により熱狂的な歓迎を受けた。今日、パテック フィリップは、現在の週番号を表示するウィークリー・カレンダーを《有用なコンプリケーション》コレクションに加え、さらに新たな一歩を踏み出した。ウィークリー・カレンダーは、世界がグローバル化する、今日のスマートフォンの時代にも有用性を発揮する機能であることは疑いを容れない。

読みやすく、独自性溢れる文字盤

新しいカラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001モデルのユニークなシルバー・オパール文字盤は、センターに5本の指針を配している。ブラック仕上げホワイトゴールドのエレガントなドフィース型時、分針は、2面にファセット仕上げが施され、4面ファセット仕上げのブラック仕上げホワイトゴールドのバトン型インデックスと完璧にマッチしている。秒はカウンターウェイト付のスリムな指針により表示される。レッドのヘッドを備えたハンマー型指針が文字盤内周のスケール上に曜日表示する。同じデザインのもうひとつの指針が、外周の2重のスケール上に週番号と月名を表示する。これらに加え、3時位置に日付が窓表示される。もうひとつの特徴は、この時計のため特別に創作された書体が、マニファクチュール パテック フィリップのデザイナーが描き起こした文字と数字に基づいているということである。これらは、それぞれが異なったユニークなものである。ブラックで入念に転写印刷されたこれらの文字と数字が、5212モデルの文字盤にきわめてパーソナルで詩的なルックスを与え、紙の日記帳に手書きで予定が書き込まれていた、それほど遠くない過去を彷彿させる。

時を超越したエレガントなケース

直径40 mm、厚さ11.18 mmのカラトラバ・スタイルのラウンド型ケースは、パテック フィリップとしては珍しいステンレススチール仕様であり、別付けされたベゼル、二段になったカーブしたラグなど、洗練されたデ



《報道資料》 ページ 2

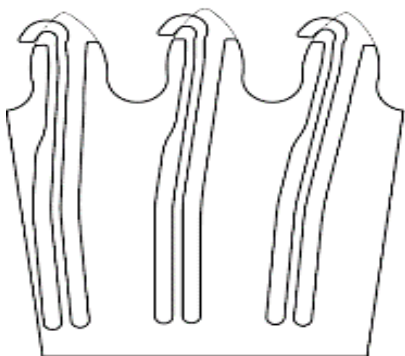
ィテールを備えている。冷間鍛造により成型され、マニファクチュール パテック フィリップの自社工場で切削加工されたケースは、次いで熟練した職人たちにより、全面が入念にポリッシュ仕上げされる。これは多くのアングルを含む複雑な形状により、さらに高度で困難な作業となっている。そのピュアなフォルムは、1955年に創作され、今日パテック フィリップ・ミュージアムが所蔵する大型のユニークピース2512モデルからインスピレーションを得たものである。ニューモデルは、このユニークピースのモデル番号と同じ数字の組み合わせを用い、数字の順序を変えることにより血縁関係を明示している。わずかにふくらみを帯びたボックス・タイプのサファイヤクリスタル・ガラスが、《ヴィンテージ》スタイルをさらに強調している。スナップオン式のステンレススチール・ケースバックは、サファイヤクリスタルを通してムーブメントの動きと精緻な仕上がりを鑑賞することができる。

部分的に統合されたウィークリー・カレンダー機構

パテック フィリップは、曜日と現在の週番号を表示するために、厚さ1.52 mm、追加部品数92個の、基本キャリアーに部分的に統合されたまったく新しい機構を開発した。このために特別に設計され、機械加工された地板（メインプレート）により、ムーブメントの厚さは最小限に抑えられている。ムーブメント中央の筒車（時針を動かす歯車）の上に配置された7歯の星車（星形の歯車）が曜日の表示を行う。もうひとつの7歯の星車（日曜日に相当する歯が他の歯よりも長い）が、レバーを介して53歯の曜日車を回転させる。カレンダー表示は、各表示の日送りがわずかの間隔を置いて行われる、いわゆる半瞬時日送り式であり、エネルギー消費の瞬発的な増大を防いでいる。曜日と週番号の調整は、それぞれ8時位置、10時位置の調整ボタンで行う。また日付調整はリュウズを一段引き出して行う。完璧に設計されたフェイルセーフ・システムにより、カレンダーの調整は、ムーブメントを損傷するリスクなしに、昼夜を問わずいつでも行うことができる。マニファクチュール パテック フィリップが快適で容易な操作に大きな力点を置いていることが、ここにも現れている。一部の国々では日曜日を週のはじめとしているが、パテック フィリップは国際規格ISO 8601に準拠し、月曜日を週のはじめとしている。また1月4日を含む週を第1週と定める。週番号目盛が53までであるのは、5～6年毎に通常（52週）より1週多い年があるためで、次回は2020年がこれに相当する。

まったく新しい基本キャリアー

週番号の表示は、新しいカラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001モデルの唯一の技術的特徴ではない。パテック フィリップは、このモデルのために、自動巻ムーブメント、キャリアー 324をベースとするま



ったく新しいムーブメントを開発した。数年にわたる開発努力の末完成したこのキャリアーは直径26.6 mm、厚さ3.3 mmであり、キャリアー 26-330 SCJSEという名称はこれに由来する。パフォーマンスと信頼性を向上させる数々の技術革新と改良を特徴としている。第1の技術革新は、センターセコンドに関するものである。秒針の振れをなくし、摩擦を低減するため、パテック フィリップの技術陣は、微調整が必要な摩擦バネのついた伝統的な3番車に代わり、LIGAプロセス（ドイツ語でX線を用いたフォトリソグラフィ、電解めっき、形成による微細加工）による画期的なアンチ・バックラッシュ歯車を導入したのである（図参照）。この特許取得の構成部品はニッケル・リン合金を素材と



し、表面が金・銅・イリジウム合金で覆われており、アヴァンギャルドな形状を持っている。すなわち各々の歯が深い溝によって前後に分割され、その中間部に、先端が鉤状となった厚さ22ミクロンの帯バネが形成されているのである。この鉤が秒カナ（秒針のついているカナ歯車）の歯を挟むことにより、一切調整の必要なしに、秒針の振れを完全に防ぐことができる。また穴石（ルビーの軸受け）の中で回転する秒針のホズ（軸の先端部）を可動としたことにより、摩擦の低減が計られている。いまひとつの改良は、《ストップセコンド》に関するものである。これは時刻合わせの際にリュウズを引き出すと、瞬時にテンプが一時停止する機能であり、時刻合わせを秒単位の精度で行うことができる。リュウズを元の位置に押し戻すと、テンプに微小な衝撃が与えられ、時計は再び動き始める。

自動巻機構の先進的な改良

自動巻機構にも抜本的な見直しが行われ、改良が加えられた。最も目立つ変化は、自動巻ローターの軸の左右に丸い凹みが設けられたことであろう。これは新しいキャリバー 26-330の一目でそれと分かる視覚的特徴となるだろう。しかしこの単方向巻上げ式の自動巻機構には、巻上げ効率と寿命において数多くの本質的改良が加えられている。自動巻ローターに関する第1の改良点は、従来の押さえバネのついたクラッチ・レバーに代えて、きわめて高度な製造工程を要する新しい特許取得のクラッチ・ホイールを導入したことである。これは一方向に回転する際にはぜんまいを巻上げ、反対方向に回転する際には空転する。第2の改良点は、ぜんまいを手で巻き上げる際、自動巻機構との連結を解除する減速歯車を導入したことである。摩擦の原因となり、微調整を要する従来の機構を先端的な構成部品で置き換えることにより、ムーブメントのパフォーマンスと信頼性が大きく向上したのである。

ウィークリー・カレンダー機構を入れて304個の部品から構成される新しいキャリバー 26-330 S C J SEは、パテック フィリップの精神に忠実な、伝統と革新の完璧な融合を体現している。新しいカラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001モデルは、サファイヤクリスタル・バックを通して、ムーブメントの洗練されたアーキテクチャーと、パテック フィリップ・シールの厳格な認定規準に準拠した精緻な仕上がりを鑑賞することができる。

PRESS



技術仕様

カラトラバ・ウィークリー・カレンダー 5212A-001 モデル

ムーブメント：	キャリバー 26-330 S C J SE 自動巻ムーブメント センターセコンド、日付、曜日、週番号表示
総 径：	27 mm
ケーシング径：	26.6 mm
厚 さ：	4.82 mm（基本キャリバー 3.30 mm、部分的に統合されたウィークリー・ カレンダー機構 1.52 mm）
部品総数：	304 個（基本キャリバー 212 個、ウィークリー・カレンダー機構 92 個）
石 数：	50 石
連続駆動可能時間：	最小 35 時間、最大 45 時間
巻上げローター：	単方向巻上げ式 21 金中央ローター
振動数：	28,800 振動（片道）/時（4 Hz）
テンプ：	Gyromax®
髭ぜんまい：	Spiromax®（Silinvar® 製）
髭持ち：	可動式
表 示：	指 針： ・時、分、秒（センター） ・曜日（センター） ・週番号と対応する月名（センター） 表示窓： ・日付（3 時位置）
セッティング機能：	リュウズの 3 位置 ・押し込んだ位置： ぜんまいの巻き上げ ・一段引き出した位置： 日付調整 ・いっばいに引き出した位置：時刻合わせ（ストップセコンド付）
調整ボタン：	・曜日調整（8 時位置） ・週番号調整（10 時位置）
刻 印：	パテック フィリップ・シール





外 装

ケース： ステンレススチール仕様、サファイヤクリスタル・バック
3気圧防水

寸 法： 直径：40 mm
厚さ：10.79 mm (サファイヤクリスタル・ガラス～ケースバック)
厚さ：11.18 mm (サファイヤクリスタル・ガラス～ラグ)
ラグ間隔：20 mm

文字盤： シルバー・オパール文字盤、転写によるブラック手書き書体
・4面ファセット仕上げブラック仕上げ18金ホワイトゴールド・バトン型インデックス
・2面ファセット仕上げブラック仕上げ18金ホワイトゴールド・ドフィーヌ型時・分針
・カウンターウェイト付ロジウム・プレート Pfinodal 秒針
・レッドの塗装ヘッドを備えたハンマー型ロジウム・プレート Pfinodal 曜日表示針
・レッドの塗装ヘッドを備えたハンマー型ロジウム・プレート Pfinodal 週番号表示針

バンド： ハンドステッチ・カーフスキン・バンド、カラーはライトブラウン、
ステンレススチール製ピンバックル

